

基本方針8 家庭との役割分担、地域との協力で子どもたちの学びと育ちを支えます

重点項目26 教育コミュニティづくりの主体的な推進

【目標】

社会全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進する。特に、すこやかネットの成果を踏まえ、地域住民が学校を支援する活動を進めるため、全中学校区に、学校支援地域本部など、教育コミュニティづくりを主体的に展開する組織づくりを促進する。

【成果（平成24年度末時点）】

〔学校を支援する取組みの推進〕

- 全228中学校区（国・府事業を活用しない96中学校区を含む）において、学校支援地域本部等による学校支援活動が展開されており、地域住民が主体的に学校を支援する体制が継続されている。

※学校支援地域本部の設置状況

	H20年度	H24年度
中学校区	234/291	132/228 (全228中学校区において 学校支援活動を実施)
府立支援学校(小・中学部設置)	20/22	20/22

(H24年度は政令市・中核市を除く)

【課題及び対応】

- ボランティアやコーディネーターの確保、研修の実施など、地域人材の育成・定着に向けた取組みや、小・中学校における活動拠点の活用を促進するなど、学校教育活動と連携した学校支援地域本部のさらなる活性化を図るための取組みが必要である。
- 地域で展開されている学校支援活動や地域教育活動の情報発信や、多様な活動団体との連携により、ネットワークづくりを進める必要がある。

【主な事業の進捗状況（平成24年度）】

項目		目標 (目標年次)	H20年度実績	H24年度実績	進捗 状況	H24年度実施事業	
①学校を支援 する取組みの 推進	学校支援地 域本部の設 置	全中学校区 (H25年度)	中学校区 234/291校区	132/228校区 (全中学校区 において学校 支援活動を実 施) ※政令市・中 核市を除く 府立支援学校(小・中学部設置)	◎	(継)教育コミュ ニティづくり推 進事業	全中学校区で地域による学 校教育を支援する活動が実施 された。 また、研修会や交流会を実施 し、地域人材の育成を図った。 ・実践交流会 (1回)約300人参加 ・ボランティア研修会 (4回)合計330人参加 ・コーディネーター研修 (2回)1回目210人 2回目160人 合計370人参加 ⑳94,484 千円【公】 (教育コミュニ ティづくり推進事 業)の一部 ㉑101,353 千円【公】 (教育コミュニ ティづくり推進事 業)の一部
	地域人材の 学校での居 場所づくり の促進	(事務局拠点整備) 291中学校区 (H25年度) ※整備実施はH21、 H22の2年間	事務局拠点整備	187/291中学 校区 (H22年度まで の実績の累計)	○	(継)市町村教育 委員会等への働 きかけ	各中学校区での学校支援活 動を継続・定着させるため、整 備された事務局拠点及び交流 拠点の活用を促進を図った。 ⑳ — ㉑ — (交流拠点整備) ⑳ — ㉑ —
(交流拠点整備) 100中学校区 (H25年度) ※整備実施はH21、 H22の2年間	交流拠点整備	135中学校区 (H22年度まで の実績の累計)					

項目		目標 (目標年次)	H20 年度実績	H24 年度実績	進捗 状況	H24 年度実施事業		
②子どもたちの生活リズムの確立に向けた取組みの推進	「3つの朝運動」の実施	全小学校 (H25年度)	—	495/621校	○	(継) 3つの朝運動の取組紹介	各校の取組みについて状況調査を実施するとともに、特色ある取組みなどについて、府内41市町村各1校へ取材を行い、その取組みの様子を教育委員会ホームページにて紹介(平成25年1月～3月)	②4 — ②3 —
						(継) 3つの朝運動プロジェクトチームの設置	関係課による3つの朝運動推進のためのプロジェクトチームを設置し、3朝運動の推進について協議。さらに、協議内容に基づき学校訪問実施やホームページの充実を図った。(9回開催)	②4 — ②3 —
	「通学合宿」の実施	全中学校区 (H25年度)	—	5/228校区	★ ※1	(継) 市町村教育委員会等への働きかけ	市町村教育委員会等に対し、子どもの生活リズムの向上などをねらいとする通学合宿の実施を働きかけるとともに、好事例をホームページ等で発信した。	②4 — ②3 —
③地域活動におけるPDCAサイクルのC(評価)、A(改善)の定着・促進	地域活動におけるPDCAサイクルの定着の促進	定着の促進 (H25年度)	—	情報提供を通じて、市町村での取組みを促進	○	(継) 「活動のふり返しシート」の活用促進	市町村担当者会議やコーディネーター研修で活動を振り返り、改善を図っている好事例を情報提供した。	②4 — ②3 —

項目	目標 (目標年次)	H20 年度実績	H24 年度実績	進捗 状況	H24 年度実施事業		
				(継)研修会・ホームページ等での普及	研修会・ホームページ等で、PDCA サイクルの定着を促進するための啓発・情報共有を実施した。 ・実践交流会【再掲】 (1回)約300人参加 ・ボランティア研修【再掲】 (4回)合計330人参加 ・コーディネーター研修【再掲】 (2回)1回目210人 2回目160人 合計370人参加	②④ — ②③ —	

項目	目標 (目標年次)	H20 年度実績	H24 年度実績	進捗 状況	H24 年度実施事業	
<p>④地域活動に関わる人・団体等の「つなぎ役」の育成を促進</p>	<p>全市町村における「つなぎ役」の人材育成</p>	<p>人材育成 (H25 年度)</p>	<p>—</p>	<p>右記研修等を実施し、市町村での取組みを促進</p>	<p>(継) コーディネーター研修、ボランティア研修等の実施</p>	<p>「コーディネーター研修」により、地域活動の核となる人材の育成を図った(2回)。 また、「ボランティア研修」(4回)により、ボランティア等のスキルアップを図った。 さらに「スキルアップ研修」(2回)を実施し、親学習リーダー等のスキルアップを図った。</p>
					<p>(継) 市町村教育委員会等への働きかけ</p>	<p>「人権教育セミナー」(1回)を実施し、市町村社会教育職員等に働きかけるとともに、「人権教育地区別セミナー」を8地区(各1回で合計353人参加)で実施し、PTA・地域人材等を中心に働きかけ、人材育成に努めた。 「大阪府市町村社会教育委員研究会議」(1回)を開催し、市町村社会教育委員の資質の向上を図った。 担当者会やヒアリング等を通じ、市町村教育委員会への地域人材の育成や拡充を働きかけた。</p>

②④ —  
②③ —

項目		目標 (目標年次)	H20 年度実績	H24 年度実績	進捗 状況	H24 年度実施事業		
⑤多様な活動 団体 (NPO・企 業等) との連 携を促進	企業連携の 成功事例等 を発信	60 事例 (H25 年度)	30 事例をホー ムページで情 報発信	60 事例を提言 冊子やホーム ページで情報 発信 (H24 年度 までの実績の 累計)	◎	(継) 活動団体 等の情報収集	活動団体 (NPO・企業等) の実践 事例等の情報収集・発信を実施し た。	②④ — ②③ —
⑥大阪「ここ ろの再生」パ ートナー協定 制度の推進	企業等との 協定締結	1,000 社・団体 (H25 年度)	61 社・団体	153 社・団体	★ ※2	(継) 大阪「こ ころの再生」 パートナー協 定制度の推進	社会全体で子どもの健やかな育 ちと学びを応援するため「こころ の再生」府民運動の一環として、 職場の子育て環境づくりの推進や 独自の社会貢献活動などを主体的 に取り組む企業や団体と府教育委 員会が協定を締結した。	②④ — ②③ —

【理由】

- ※1 宿泊場所や入浴施設、支援にあたるリーダーやスタッフの確保等、宿泊に伴う課題は多く、地域が主体となって実施することへの地域人材の不安が強い。実施する校区への現地取材を通じて取組みの様子や効果を把握し、引き続き市町村へ発信するとともに地域の実情に応じた生活リズム向上の取組みを検討していく。
- ※2 大阪「こころの再生」パートナー協定の締結には、企業・団体が宣言した取組みの実行力や企業・団体としての信用力などをしっかりと精査する必要があり、単に数値だけを求めるのではなく、質を重視した協定を締結していく。

【「大阪の教育力」向上プラン策定後に生じた課題に対する事業の進捗状況】

項目	目標 (目標年次)	H21 年度実績	H24 年度実績	進捗 状況	H24 年度実施事業		
地域人材の学校での 居場所づくりの促進	(小学校の活動拠 点整備) 256小学校区 (H23年度)	—	185/256校区 (H23年度までの 実績の累計)	○	(継) 市町村教育 委員会への働き かけ	地域人材が学校支援活動の 準備や子どもとの交流を行う 場として、小学校に整備した 拠点の活用を促進を図った。	②④ — ②③12,901 千円【単】 ゆめ基金活用

【参考】

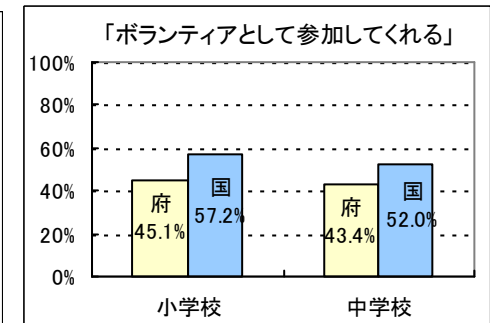
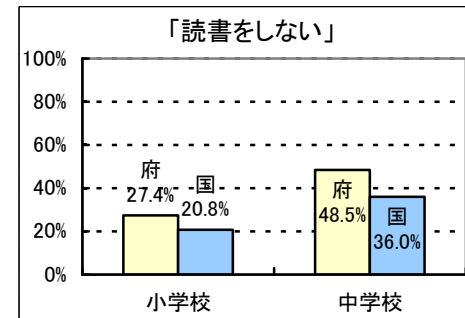
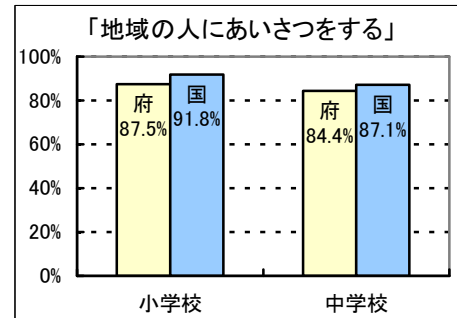
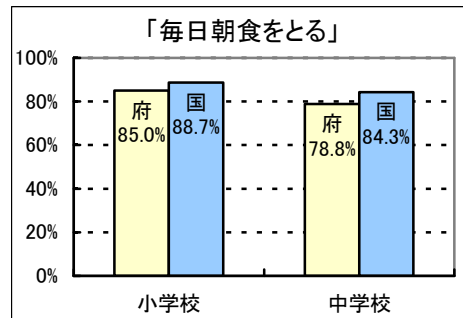
◆学校支援ボランティア人数

	H20 年度	H24 年度
1 中学校区あたりの平均人数 (人)	191	300

◆学校支援ボランティアになった経緯 (平成 21 年度)

自分から進んで	学校から頼まれた	その他
44%	37%	11%

◆平成 25 年度「全国学力・学習状況調査」における「毎日朝食をとる」「地域の人にあいさつをする」「読書をしない」「地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれる」に関する大阪府と全国の平均



◆平成24年度学校支援地域本部実施箇所数

	市町村名	中学校区数	学校支援地域本部 実施中学校区数		市町村名	中学校区数	学校支援地域本部 実施中学校区数
1	池田市	5	5	25	河南町	1	1
2	箕面市	8	8	26	千早赤阪村	1	0
3	能勢町	2	2	27	泉大津市	3	3
4	豊能町	2	2	28	和泉市	10	10
5	吹田市	18	0	29	高石市	3	0
6	茨木市	14	0	30	忠岡町	1	1
7	摂津市	5	5	31	岸和田市	11	11
8	島本町	2	0	32	貝塚市	5	5
9	守口市	9	9	33	泉佐野市	5	0
10	枚方市	19	0	34	泉南市	4	4
11	寝屋川市	12	12	35	阪南市	5	0
12	大東市	8	8	36	熊取町	3	3
13	門真市	6	6	37	田尻町	1	1
14	四條畷市	4	0	38	岬町	1	1
15	交野市	4	4	合計		228	132
16	八尾市	15	0				
17	柏原市	6	0				
18	富田林市	8	8				
19	河内長野市	7	7				
20	松原市	7	7				
21	羽曳野市	6	6				
22	藤井寺市	3	3				
23	大阪狭山市	3	0				
24	太子町	1	0				



基本方針 8 家庭との役割分担、地域との協力で子どもたちの学びと育ちを支えます

**重点項目 27** 保護者のエンパワメントと家庭教育を支える地域ネットワークの構築

**【目標】**

家庭教育に関する学習機会や情報の提供を行い、保護者が身近な地域・住民とつながりを持つきっかけをつくることで、家庭教育（子育て）において、自らの役割に気づき、それを果たせる環境を醸成する。

**【成果（平成 24 年度末時点）】**

**〔家庭教育支援〕**

- 全市町村（政令市を除く）において、家庭教育（子育て）に関する学習・交流機会を提供しており、保護者が地域・住民とつながりを持つきっかけをつくった。  
20 年度：40 市町村      23 年度：41 市町村      24 年度：41 市町村
- 「家庭教育支援スキルアップ研修（2 回）」を実施し、家庭教育支援に関わる人材の学習・交流機会の充実を図った。

**【課題及び対応】**

- 地域での家庭教育支援に関わる人材の育成やネットワークづくり、学校・市町村・関係機関等との連携・情報交換の一層の推進が必要である。
- 保護者や児童・生徒に対する親学習の機会の増加とその周知を図る必要がある。
- 子育てに不安や負担感を持ち、地域から孤立しがちな保護者に対する支援の促進が必要である。

【主な事業の進捗状況（平成24年度）】

項目		目標 (目標年次)	H20年度実績	H24年度実績	進捗 状況	H24年度実施事業		
①多様な家庭教育(子育て)支援の一体的な取り組みの推進	家庭教育に関する学習への参加	100,000人 (H25年度)	53,100人	57,595人	△	(継)大阪府教育コミュニティづくり実践交流会、ボランティア研修の開催	<p>教育コミュニティづくりの先導的な実践事例の報告を通じて、その成果やノウハウを共有し、今後の家庭教育支援の取組みを推進するための学習・交流機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実践交流会 (1回) 約300人参加</li> <li>ボランティア研修 (4回) 合計330人参加</li> </ul>	<p>②4 94,484千円 (教育コミュニティづくり推進事業費)の一部【公】</p> <p>②3 101,353千円 (教育コミュニティづくり推進事業費)の一部【公】</p>
						(継)スキルアップ研修の開催	<p>家庭教育支援に関わる人材を対象に、研修、情報交換等の機会を提供し、参加者のスキルの向上を図った。</p> <p>(年2回)</p> <p>1回目59人・2回目23人 合計82人参加</p>	<p>②4 3,189千円 (社会教育指導普及費)の一部【単】</p> <p>②3 3,588千円 (社会教育指導普及費)の一部【単】</p>
						(継)親学習研修会の開催	<p>市町村立学校教職員・府立学校教職員を対象に、親学習リーダーによる実習などとおして、授業に向けての実践的なニーズに対応できる研修機会を提供した。(小中学校教職員対象1回、府立学校教職員対象1回開催)</p>	<p>②4 3,189千円 (社会教育指導普及費)の一部【単】</p> <p>②3 3,588千円 (社会教育指導普及費)の一部【単】</p>

項目		目標 (目標年次)	H20年度実績	H24年度実績	進捗 状況	H24年度実施事業		
①多様な家庭教育(子育て)支援の一体的な取り組みの推進	市町村への情報提供の充実	充実 (H25年度)	—	市町村教育委員会や学校等に対する好事例の訪問取材による情報提供等を通じて、市町村における実践を促進	○	(継)市町村教育委員会等への情報提供や働きかけ	市町村教育委員会や学校等に対する好事例の訪問取材を実施し、市町村ヒアリング、担当者会議において、家庭教育支援についての情報提供を行うとともに、親学習リーダー及び家庭教育支援チーム員の交流会を実施した。(各1回)	②4 — ②3 —
	ホームページへのアクセス	20,000件 (H25年度)	9,500件	18,271件	○	(継)ホームページの内容の充実と積極的な周知	ホームページ上に掲載している支援活動の好事例、親学習教材等について、メールマガジンや研修会等でその周知に努めた。	②4 — ②3 —

基本方針8 家庭との役割分担、地域との協力で子どもたちの学びと育ちを支えます

重点項目28 生きる力をはぐくむ体験活動や読書活動の推進

【目標】

- ・小学校区における放課後等の子どもたちの体験活動や学習活動等の場づくりを進める。
- ・読書活動を推進する。

【成果（平成24年度末時点）】

〔教育コミュニティづくり推進事業（おおさか元気広場）の実施状況〕

- 放課後等に、安全で安心な子どもの活動場所を確保するとともに、子どもの体験・交流活動や学習活動等の活性化を地域社会全体で推進する「おおさか元気広場」の活動が約87%の小学校区で実施されている。
- 放課後児童クラブとの連携や放課後等の学習支援、障がいのある子どもの活動参加を推進するため、学校訪問や市町村教育委員会へのヒアリングを通じて好事例を収集し情報提供するとともに、府内の特色ある取組みを紹介する「大阪府放課後子どもプラン実践事例集」を作成した。

（実施小学校区数／全小学校区数（政令市、中核市を除く））

	H20年度	H24年度
小学校区	393／528 (74.4%)	419／483 (86.7%)
うち 配慮を要する児童が参加	99 (18.8%)	108 (22.4%)
うち 放課後児童クラブとの連携	—	68.4% (注1)
放課後学習支援	140／528 (26.5%) (注2)	499／619 (80.6%) (注3)
府立支援学校(小学部設置)	15／22 (68.2%)	20／22 (90.9%)

（注1） 対象年度は平成23年度

（注2） まなび舎kids（おおさか元気広場推進事業を活用した、小学校における放課後学習支援の取組み。平成22年度末で終了）の実施校区数。

（注3） 放課後学習を実施したと回答した小学校数（中核市を含む）

【課題及び対応】

- 子どもたちの体験活動や学習活動の充実を図るため、ボランティアの確保、研修の実施など、地域人材の育成・定着に向けた取組みを促進する必要がある。
- 障がいのある子どもの放課後等の活動への参加や放課後児童クラブとの連携をさらに促進する必要がある。

【主な事業の進捗状況（平成24年度）】

項目		目標 (目標年次)	H20 年度実績	H24 年度実績	進捗 状況	H24 年度実施事業	
①放課後等の子どもたちの体験活動や学習活動等の場づくり	「おおさか元気広場推進事業」の実施	全小学校区 (H25 年度)	393/528 校区 ※政令市、中核市を除く	419/483 校区 ※政令市、中核市を除く	○	(継)教育コミュニティづくり推進事業	放課後や週末等に、安全で安心な子どもの活動拠点を確保するとともに、地域のボランティアの方々の参画・協力を得て、子どもの体験・交流活動及び学習活動等の活性化を図ることにより、地域社会全体で子どもの豊かな成長を育む教育コミュニティづくりを推進した。
		全府立支援学校 (H25 年度)	15/22 校	20/22 校	○		
②読書活動の推進	重点項目31①②参照						

②494,484 千円【公】  
(教育コミュニティづくり推進事業)の一部  
③101,353 千円【公】  
(教育コミュニティづくり推進事業)の一部